

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

|           |              |                  |      |       |      |
|-----------|--------------|------------------|------|-------|------|
| 評価対象事務事業名 | 地区別まちづくり計画事業 |                  |      | 事業コード | 0747 |
| 担当課等      | 所属名          | 都市整備部 都市計画課      |      | 担当係名  |      |
|           | 課長名          | 都市整備部 都市計画課 伊藤 純 | 担当者名 | 舞良 真  | 電話番号 |

## 1. 事務事業の基本情報

|   |  |             |          |             |                                |          |
|---|--|-------------|----------|-------------|--------------------------------|----------|
| 総合計画体系  | 施策の柱   | 信頼される質の高い行政 | コード<br>8 | 施策          | 市民とともにつくる行政の実現                 | コード<br>3 |
|   | 基本事業   | 市民参加の推進     | コード<br>3 | 関連予算<br>費目名 | 一般会計 8款 4項 5目 都市計画調査事務(001-01) |          |
|   | 特記事項   |             |          |             |                                |          |
| 事業期間  | <input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒(開始年度 16年度～) |             |          |             |                                |          |
| 事務事業の概要   | 町内会等を単位とした特色ある地区のまちづくりをするため、まちづくりアドバイザーの派遣や地域住民との話し合いを行いながら、まちづくり活動を支援する。  |             |          |             |                                |          |
| 根拠法令等   | 盛岡市都市計画課マスタープラン・盛岡市まちづくりアドバイザーの派遣や登録に関する要綱   |             |          |             |                                |          |
| この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)   |  |             |          |             |                                |          |
| 平成13年度に策定した都市計画マスタープランにおいて「市民協働のまちづくりの方針」を掲げ、まちづくりを推進することとした。   |  |             |          |             |                                |          |
| この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか   |  |             |          |             |                                |          |
| まちづくりの専門家を派遣する本支援事業については、1団体あたり年間1~2回程度に限られており、アドバイスの継続など充実した対応が求められている。                                      |  |             |          |             |                                |          |
| 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか  |  |             |          |             |                                |          |
| 住民の意見の集約や活動の進め方など、地区ならではの状況に応じた適切なアドバイスが行われることにより、住民主体のまちづくり活動が促進されている。自主的なまちづくりに関する関心や活動の実践は、今後さらに高まると考えられる。 |  |             |          |             |                                |          |

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

|                                       |   |   |                          |  |    |    |
|---------------------------------------|---|---|--------------------------|--|----|----|
| ①対象<br>(誰を、何を対象としているのか)               | 自主的なまちづくり活動を行なおうとする町内会等の組織及びそれを支援するNPO  | ⇒ | ②対象指標<br>(対象の大きさを示す指標)   | A. 町内会等地区数   | 単位 | 地区 |
|                                       |   |   |                          | B. まちづくりNPO数   | 単位 | 団体 |
|                                       |   |   |                          | C.   | 単位 |    |
| ③手段<br>(事務事業の内容、やり方、手順)               | 22年度実績(22年度に行った主な活動)<br>まちづくりの会への職員の参加による助言と、ワークショップ等に対するまちづくりアドバイザーの派遣によるまちづくり支援<br><br>23年度計画(23年度に計画している主な活動)<br>22年度に同じ | ⇒ | ④活動指標<br>(事務事業の活動量を示す指標) | A. まちづくりの会への参加数  | 単位 | 回  |
|                                       |   |   |                          | B. まちづくりアドバイザー派遣回数   | 単位 | 回  |
|                                       |   |   |                          | C. まちづくりNPO参加数   | 単位 | 団体 |
| ⑤意図<br>(この事業により対象をどのように変えるのか)         | 地区における課題や今後も残したい地区の宝等を皆で話し合いながら、情報を共有したり、地区の課題解決へむけた活動を通じ、地区住民のまちづくりに対する意識を高め、将来の望ましいまちづくりを進める。                             | ⇒ | ⑥成果指標<br>(意図の達成度を示す指標)   | A. まちづくりの会活動地区<br>【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 | 単位 | 地区 |
|                                       |   |   |                          | B.<br>【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】                        | 単位 | 回  |
|                                       |   |   |                          | C.<br>【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】                        | 単位 |    |
| ⑦結果<br>(上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか) | 自主的にまちづくりの一翼を担う   | ⇒ | ⑧上位成果指標<br>(上位基本事業の成果指標) | 協働事業の件数(単位:件)  |    |    |



3. 事務事業の評価(See)

|       |  |  |   |
|-------|--|--|---|
| 必要性評価 | ① 施策体系との整合性<br>この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？          | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 結びついている                                      | 理由: 本業務は市民協働のまちづくりを支援するものであり、「市民みずからがまちづくりの主体となる「市民起点」のまちづくりを目指すものである。  |
|       | ② 公共関与の妥当性<br>市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？            | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 妥当である  | ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他<br>理由: まちづくりに関する専門家を適切なタイミングで派遣し、地区住民が必要なアドバイスを得ることを通じて、本市が目指すまちづくりの基本理念「市民起点」のまちづくりを実践する事業であり、税金の使途目的として妥当である。                                     |
|       | ③ 対象の妥当性<br>対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？ | <input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である                                 | ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他<br>理由: 地区別のまちづくりを担うものとして、町内会等を事業の対象としており、地域のまちづくりを担う適切な団体等であれば対象となることから妥当である。   |
|       | ④ 意図の妥当性<br>意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？      | <input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である                                | ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他<br>理由: 自主的なまちづくりを担おうとする町内会等に対し、市民協働を促進する観点から支援することは妥当である。   |
| 有効性評価 | ⑤ 成果の向上余地<br>成果がもっと向上する余地はありますか？                       | <input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input type="radio"/> 向上余地がない                                       | その内容: 自主的なまちづくりに関心を持つ地区は多くあり、また、地区の課題は住環境やコミュニティなど多くの分野にわたるため、今後、まちづくりを総合的に支援する組織体制について検討する必要がある。   |
|       | ⑥ 廃止・休止の影響<br>事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？          | <input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 影響がある   | その内容: 自主的なまちづくりに取り組もうとする町内会等が増えようとする中、これを支援する本事業を廃止・休止した場合には、市民協働のまちづくりが後退する。   |
|       | ⑦ 類似事務事業との関係<br>類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？            | <input checked="" type="radio"/> 類似事業がある<br><input type="radio"/> 類似事業がない  | 事業名: 国・県・市・NPO等団体が各々に様々な事業を行っている。<br>※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？<br>統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> できない<br>理由: 本事業の対象となるまちづくりの組織は様々な形態があり、本制度を活用したまちづくりのきっかけづくりを行う場合もあり、他の制度との投合や整合はなじまない。 |
| 効率性評価 | ⑧ 事業費の削減余地<br>成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？                | <input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 削減できない  | 理由: 自主的なまちづくりに取り組もうとする町内会等が増えようとする中、適切な時期での事業の実施は市民協働のまちづくりを進める上で必要であり、事業費の削減のよりは拡充すべきと考えられる。   |
|       | ⑨ 人件費の削減余地<br>成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？        | <input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 削減できない  | 理由: まちづくり活動の活性化とともに、その支援に当たる人員や実働時間も増加するため、削減の余地の無い状況である。   |
| 公平性評価 | ⑩ 受益機会の適正化余地<br>受益機会の適正化余地はありますか？                      | <input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 公平・公正である<br><input type="radio"/> 特定の受益者はいない | 理由: 本市の職員による支援に加え、適切な機会を選び実施されるまちづくり専門家の派遣は、受益者である自主的なまちづくり活動を行う町内会等に対する最小限の支援と考えられる。   |
|       | ⑪ 費用負担の適正化余地<br>受益者の費用負担の適正化余地はありますか？                  | <input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ<br><input checked="" type="radio"/> 公平・公正である<br><input type="radio"/> 特定の受益者はいない |   |

理由:本事業の対象は地域のまちづくりを担う適切な団体等に対する必要最小限の支援でありであり、別途予算がある場合は役割分担による適正化を図っている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

|         |   |
|---------|---|
| 改革／改善方向 | <p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)<br/>※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること<br/>都市計画マスタープランの地域別構想の充実や、各地区におけるまちづくり組織の結成など、市民のまちづくりに対する関心が高まってきている状況であり、これに対する市の対応策を考える必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？<br/>(関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)<br/>市としては、市民のまちづくりに関する活動に対して積極的に支援する必要があるが、まちづくりの課題は多様多岐にわたり、地域の実情も様々であり、これらを総合的に支援するため、新たな組織づくりも視野に入れた対応が必要と考えられる。</p> |
|---------|---|

5. 課長意見

|  |   |  |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |
|--|---|--|-----------------------------|--|--|-----------------------------|-----------------------------|-------|------|-----------|-------|------|-----------|--|
| 一次評価   | <p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>   | ① 必要性  | ● 妥当                        | ○ 見直し余地あり                              | ② 有効性  | ○ 妥当                        | ● 見直し余地あり                   | ③ 効率性 | ● 妥当 | ○ 見直し余地あり | ④ 公平性 | ● 妥当 | ○ 見直し余地あり | <p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>市民基点のまちづくりを推進するためにも、各地区におけるまちづくりへの支援として有効であり、地域協働推進事務局等の庁内体制との連携協力を図りながら、さらなる活動充実を図る必要がある。</p> |
| ① 必要性  | ● 妥当  | ○ 見直し余地あり  |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |
| ② 有効性  | ○ 妥当  | ● 見直し余地あり  |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |
| ③ 効率性  | ● 妥当  | ○ 見直し余地あり  |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |
| ④ 公平性  | ● 妥当  | ○ 見直し余地あり  |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |
| 今後の方向性と改革改善案   | <p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)<br/> <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う<br/> <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> |  | <input type="checkbox"/> 終了 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)<br><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う<br><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 | <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> 休止 |       |      |           |       |      |           |  |
| <input type="checkbox"/> 終了  | <input checked="" type="checkbox"/> 継続  | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)<br><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う<br><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |
| <input type="checkbox"/> 廃止  | <input type="checkbox"/> 休止   |  |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |
| <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>機会をとらえて地域に向く等、市民ニーズの把握と情報提供に努め、さらなる活動充実を図る。また、地域協働推進計画による事業とも連携を図る必要がある。</p> |   |  |                             |  |  |                             |                             |       |      |           |       |      |           |  |